

滋賀県地球温暖化防止活動 推進員奮闘記

滋賀県地球温暖化防止活動推進センターでは、平成12年度より滋賀県知事から委嘱を受けた100名の地球温暖化防止活動推進員の方々に、滋賀県下の地元地域の人々に地球温暖化防止について様々なPR活動を行っていただいています。本年度は、「出前講座」ということでセンターのパネルや啓発グッズを利用して、学校や行政関係など多くのところに出かけていただいています。その反面、様々なご苦勞もあるようです。ここでは、各地域でグループを作り活躍している推進員さん4名に、体験談等をお聞かせいただきました。



出前講座（下阪本小学校）

白石 進 さん

（大津湖西地域）

「地域の多くの人に地球温暖化を理解いただきたい」という思いから、推進員をはじめました。まずは地球温暖化を学ぶことからはじめ、地域の人々に啓発し、そこからまた学んでということをし、繰り返ししていこうというものでした。自治会の会長をした経験から、まずは自治会単位でということ、46自治会長さんの集まりで地球温暖化について訴え、それを文書にしたものを持ち帰って回覧してもらいました。ただその反響は、「よくわかった」というものもありましたが、多くはあまりはかばかしくないものでした。さらに地元老人会で話したところ、5分で「もうごめんだ」といわれて、この時点で地球温暖化防止を訴えることは大変なことだと思われしました。

これを各グループのメンバーで話した結果、それでは、若い人、とりあえず小学生向けに、ねらいをつけようということになりました。では、どうしたら小学校への道をつけられるか。まず教育委員会を訪問しました。そこで2校推薦していただけたのです。比叡平小学校・下阪本小学校の2校でした。すぐに小学校へ説明にいくと、すでに教育委員会より資料が届いており、話は順調に進んでいきました。出前講座として学校以外の人の話が聞けるということに興味を持っていただけたようです。学校としては、年間カリキュラムの中で、理科の授業が、総合学習の授業かのどちらかに位置付けるかという問題もありましたが、話の内容、教科書との整合性など何度も学校の先生と打ち合わせをして進めていきました。

下阪本小学校では、5・6年生について午前中授業をしました。パネルや石油換算のバックなどを使



出前講座（比叡平小学校）

い実施いたしました。数人のこどもに感想を聞いたところ地球温暖化の話が聞けてとてもよかったですという評判で大変うれしかったです。滋賀県地球温暖化防止活動推進センターのパネルを使い、興味を持った児童がパネルの前でメモを取るという姿もみられました。後で先生から、厳しい批評があるかなと思つたら、是非今後よろしくお願ひしますと言つていただけました。比叡平小学校では、パネルを使った授業と、ソーラーカーの組み立てを行いました。ちょうど天気もよく、外でよくソーラーカーは走りました。これも評判はよかったです。

今後企業や学校など廻らしていただきたいと考えています。教育委員会からは「中学校も」というお話を伺っております。また幼稚園で人形劇をやつたらどうかという計画があつて、これもやりたいと思つていきます。

堀田 良太郎 さん

(湖東湖北地域)

環境に興味を持ち始めたのは地元区長の会長の会長をしてびわ町水環境推進委員会に入った時からです。そんなこともあつてか行政より推薦され、地球温暖化防止活動推進員として勉強させてもらっています。こういった役割をできるだけ多くの人に経験してもらいたいですね。活動については、行政と違い自分自身はなんの権限もありませんので、できるだけ多くの機会を利用して先々で多くの人と話をするということをやっています。たとえば、家では私はゴミ係でゴミ出しをしています。ですが、ゴミ集積場所で感じた様々なことを、色々なところで話をするにしています。また地元の小学生にも話をする機会も多いのでこういったことを話しています。今後も地道に一步步日々活動を重ねていきたいと思っています。



啓発活動(彦根市)

藤井 武二 さん

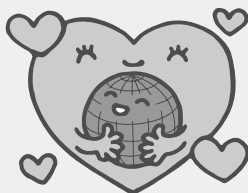
(湖南地域)

もともと公害防止・省エネ機器等を製造販売している会社に勤めていました。定年後も環境をライフワークとし社会貢献をしたいと思います。そこで推進員に応募した後は、野洲市や守山市の環境課に積極的に働きかけて、野洲市文化ホールや守山環境フェスタなどのイベントに参加しています。特に滋賀県地球温暖化防止活動推進センターの省エネお得ポイント制度を利用して、地元近江富士団地の自治会にもPRしました。この制度を利用して、自治会の環境意識の高揚を図ったのです。これはほとんど住民の方に参加していただいで効果があつたと思います。



啓発活動(守山市)

今は野洲市環境基本計画の作成委員をしています。ピオトープや里山など地元への付いた活動を伴う計画を作っていていきたいと思っています。やはり地元行政と自治会がしっかりと結びついて進んでいくことがベストであると思います。さらに出前講座などを利用して、こういった輪を広げていきたいですね。また自身が所属するボイラー協会などを通じて、産業界の方にもこの輪を広げたいと思っています。



山田 勇 さん

(東近江甲賀地域)

以前から環境ということには興味があり、「地球温暖化」について勉強してみたいと思っていました。今、栗東自然観察の森で仕事をし、休みには仲間と町歩きや竹を使ったキャンプなどの活動を企画しています。そういった活動と地球温暖化防止をすぐに結びつけられたいのですが、現状ではまだいい工夫が生まれません。もう少し時間がかかりますね。ただ、昔はいなかった生物、たとえばナガサキアゲハが北上しているということもありますし、なにか結びつくことは将来あると思います。その中で先日、自然の中で季節を感じる試みを行いました。たとえば、旧暦で季節を感じ、自然の変化を感じるなどです。これも地球温暖化とうまく結びつくことができる面白い企画となると思っています。



出前講座(安土小学校)